

3. 実施計画

(1) 学校教育

基本方針1 確かな学力を身につけた児童・生徒の育成（賢く豊かな自分づくり）

～基礎的・基本的な知識や技能を習得させるとともに、
それらを活用できる力の育成と学びへの意欲を高めます～

基本方針2 豊かな情操と道徳心を備えた児童・生徒の育成（賢く豊かな自分づくり）

～人を思いやる心や感動する心を育てるとともに、
規範意識や公共の精神を大切にできる人づくりを進めます～

基本方針3 積極的に運動に取り組み、自ら体力の向上をめざす児童・生徒の育成

（健やかな体づくり）
～規則正しい生活態度を身につける中で運動する習慣を身につけ、
生きる上で、基盤になる体づくりを進めます～



◇安全な学校施設、安心して学べる学校環境の整備

◇個別な支援を必要とする子どもへの体制の整備

教育は、知育・徳育・体育の3つの側面から、人格の完成を目指す営みであります。

今、世界は、激動の中にあります。これからの時代を生きぬくために必要な資質は、大きく変わろうとしています。習得した基本的な知識を基盤に、未来を切り拓く創造性を兼ね備えた児童・生徒の育成を目指します。知性は、行動や体験を通して、鍛えられ磨かれます。装飾的な知性ではなく、生き方そのものを豊かにし、人と共に生きることの価値を尊重し、自らの生活を切り拓いていく力の育成を目指します。

また、徳育の面では、自国を愛し、伝統と文化を継承・発展させると同時に、他国を尊重しながら、国際社会を生きていく日本人の育成が求められています。人と人とのつながりを大切に、正義と責任を重んじる実践的な態度の育成が、その出発点となります。さまざまな場面を通し、時代の要請に応えた公共の精神を育む教育を進めます。

もちろん、そうした力の伸長には、健康でたくましい体が必要となります。児童・生徒一人ひとりが、運動することを愛好し、自ら健康の保持増進を目指す環境を整え、知育、徳育、体育の調和のとれた教育を進めます。

上記の力を育むための前提として、安心・安全な教育環境の整備を行います。

また、個別な支援を必要とする子どもに対して特別支援教育を充実させるとともに、教育相談体制の一層の整備を図ります。

【現状と課題】

学習意欲の向上と基礎学力の定着

○全国学力・学習状況調査等の結果分析によると、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られている学習内容がある一方で、課題となる学習内容も少なくない状況です。また、定着の不十分な児童・生徒については、きめ細かな支援が必要な状況です。当面は、学習意欲を高める学習指導の創意・工夫、課題となる学習内容を中心とした学力の定着並びに未定着の児童・生徒への学力補充に努めることが重要です。

読書活動の推進

○「子ども読書活動推進計画」や総合図書館と連携した夏休み読書記録カードの取り組みを通して児童・生徒が本を読む機会は増えています。今後も読みたい本がすぐに手に取れる環境をさらに整備していく必要があります。

体験活動の充実

○学校行事や部活動等に多くの児童・生徒は前向きに取り組んでいます。仲間と協力する活動を通して、達成感を味わうことができている。今後も教科学習とのバランスを図りながら、教科で学んだことを生かし、目的を一層明確にして行事等に取り組ませていく必要があります。

○多くの児童・生徒は「人が困っているときは進んで助けている」「近所の人に会った時はあいさつをしている」「人の気持ちがわかる人間になりたい」「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」という意識を持っています。今後も児童会活動・生徒会活動・ボランティア活動等の自主的活動を推奨しながら、思いやりの気持ちを育んでいく必要があります。

規範意識の向上

○価値観が多様化する中で、人として許されること、許されないことを教えることがますます大切になってきています。時おり規範意識に欠ける言動をとってしまう児童・生徒が見られます。家庭・地域・関係機関等との連携を図りながら、すべての児童・生徒が社会的ルールを守るようにする必要があります。

体力の向上

○生活環境の変化に伴い屋外で運動する機会は少なくなってきました。また、スポーツ少年団や部活動で熱心に活動する子と全く運動しない子の運動量の差が広がる傾向にあります。全国的にも体格が向上しているにもかかわらず、体力・運動能力は昭和60年に比べると低下の傾向にあります。近年寒川では特に、女子中学生の運動能力の低下が懸念されています。体育の授業を中心に運動能力の向上を図る必要があります。

家庭との連携

○多くの児童・生徒は朝食をとる習慣がついていますが、日常的にテレビやDVDを長時間にわたり見ている児童・生徒が多く、特に中学生では就寝時刻が遅く、睡眠時間が少ない傾向が見られます。

○家庭学習では学校から出された宿題には取り組むが、進んで復習や予習などをする児童・生徒は限られています。授業改善に努め、学んだことが実際の生活につながるよう授業改善を図ると共に、自主的な学習をする習慣を身につけさせる必要があります。

地域との連携

○多くの児童・生徒は郷土に親しみをもち生活を送ることができています。今後は、地域のもつ教育力を学校教育に一層生かしていく必要があります。

支援教育の推進

○現在小学3校、中学校3校に特別支援学級を設置しています。特別の支援を必要とする児童・生徒が増えており、ニーズを踏まえてさらに特別支援学級を開設していく必要があります。

○子どもを取り巻く家庭環境・社会環境の変化に伴い、個別の支援を必要とする児童・生徒は増加傾向にあります。教師とスクールカウンセラー等の専門スタッフとの連携を図り、相談活動を展開しておりますが、さらに教育相談活動を充実していく必要があります。

教職員の指導力と学校力の向上

- 寒川の小・中学校では地域に根ざした教育を展開していますが、さらに今の時代に求められる教育を展開していくために、教師個々の資質の向上を図り、それらをつなぎ合わせ組織としての教育力を高めていく必要があります。
- 教師の世代交代が進み、若手教師が増えてきています。今後は、そうした若手教師の育成はもとより、若い力を生かし学校の活性化を図る必要があります。

防災教育の推進

○東日本大震災は大きな被害をもたらすと同時に、国民の意識を一変させました。災害に対する対策を進めるとともに、防災教育を積極的に進めていく必要があります。

学校施設の改善

○平成22年度をもって小・中学校施設の耐震補強工事は全て終了し、耐震化が図られました。教育環境のさらなる充実を目指し、大規模改修を進める必要がありますが、財政状況が大変厳しいことから、当分の間は緊急性の高い修繕を随時行っていく必要があります。

◆◆◆◆ 前期計画（今後の3年間）の重点施策 ◆◆◆◆

※右側の番号は、該当する主な取り組みの番号です。

学習意欲の向上と基礎学力の定着

- ① 少人数学習等を推進し、基礎・基本の確実な定着を図り、活用する力を育成します。(1)(12)
- ② 小学校低学年で35人以下学級を編成することで、一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導を展開します。(9)
- ③ 学ぶことの楽しさ・喜びを実感できる授業を展開します。(12)
- ④ 全国学力・学習状況調査等で明らかになった課題となる学習内容を中心にした基礎力定着度確認問題を小学校1年から中学校3年生までの各学年別に作成し、基礎力の定着度を検証します。未達成の部分については、補充学習を丁寧に行います。(1)

読書活動の推進

- ⑤ 総合図書館と学校図書館の連携を図り、読書活動をさらに推進し、豊かな情操と自ら学ぶ力を育みます。(10)

体験活動の充実

- ⑥ 様々な体験学習を通し、社会のルールを学び、生きることの喜びや命の大切さを実感させ、人を思いやる心を育み、共に生きようとする態度を育成します。(3)
- ⑦ 日常的に目標に向かって努力をし、達成できたときの感動を味わえる場を設けるとともに、将来的に夢や希望に向かって前向きに生きていこうとする態度を育みます。(3)
- ⑧ 情報教育、環境教育、国際教育など時代の変化に対応した教育を実施します。(4)(14)(15)

規範意識の向上

- ⑨ 教職員の研修会・研究会の活性化とともに、関係諸機関との連携を図ります。(7)

体力の向上

- ⑩ 体育の授業や部活動の充実、休み時間の運動や遊びを促し、運動への関心を高め、健康の保持増進と自ら体力の向上を目指す児童・生徒を育成します。(5)

家庭との連携

- ⑪ 早寝・早起き・朝ごはん運動を生かして、基本的な生活習慣の定着を図ります。(2)
- ⑫ 適切な課題を与えて学ぶ喜びを感じさせながら、自主的な学習をする習慣を身につけさせることを目指します。(2)

地域との連携

- ⑬ 地域の教育力を生かし、授業や課外活動の一層の充実を図ります。(8)

支援教育の推進

- ⑭ 特別な配慮を必要とする児童・生徒への支援体制の充実を図ります。(13)
- ⑮ 家庭環境・社会環境の変化を踏まえ、個々のニーズに応じた支援体制を整えます。(18)(19)

教職員の指導力と学校力の向上

- ⑯ 管理職のリーダーシップのもと、学校教育目標の達成を目指した全教職員一丸となった職員体制を構築します。(11)
- ⑰ PDCAサイクルを機能させ、学校組織の活性化を図ります。(11)
- ⑱ 校内研究会の充実、教職員研修会・研究員研究会の活性化を図り、高い実践力を兼ね備えた教師の育成に努めます。(6)(16)(17)
- ⑲ 若手教師の指導力向上に向けて、研修の充実を図ります。(16)(17)

防災教育の推進

- ⑳ 震災等への災害対策を進めるとともに、防災に関わる知識の普及や意識啓発に努めます。(4)(16)

学校施設の改善

- ㉑ 学びやすい学校環境の整備を目指し、施設の大規模改修を計画的に進めます。(20)



主な取り組み

現状値は平成22年度の数値

【学校教育課】

事業名	番号	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)
「生きる力」の 育成事業	(1)	少人数学習等の実施により、学習形態や指導方法を工夫・改善し、学力向上を図ります。また、基礎力の定着度を検証し、補充学習等を実施します。	基礎力定着度確認問題の正答率	70% (65%)
	(2)	家庭との連携をとり、基本的な生活習慣・学習習慣の定着を図ります。	基本的な生活習慣・学習習慣の定着率	70% (50%)

「生きる力」の 育成事業	(3)	教育活動全体を通して、生命を尊重する心や自他を大切にすることを育みます。	アンケートによる望ましい児童・生徒の割合	80% (70%)
	(4)	情報教育・環境教育・国際教育などを充実させ、時代の変化に対応する力を育成します。	アンケートによる望ましい児童・生徒の割合	80% (一)
	(5)	たくましく生きるために、自らの健康を維持・増進していこうという態度を育てます。	アンケートによる望ましい児童・生徒の割合	80% (一)
	(6)	各校の校内研究の充実を支援します。	指導主事による校内研究への指導助言回数	50回/年 (32回/年)
	(7)	児童・生徒指導力向上のための研修会・研究会の充実を図ります。	研修会への参加人数	50人/年 (40人/年)
地域のせんせい ふれあい 推進事業	(8)	「地域のせんせい」を講師にした授業や総合的な学習の充実を図ります。	アンケートによる児童・生徒・保護者の満足度	70% (一)
少人数学級実施 事業	(9)	個に応じたきめ細かな指導を展開します。	基本的な生活習慣・基礎的な学力の定着率	90% (80%)
学校図書充実事業	(10)	読書活動を推進し、豊かな情操の育成を図ります。	現状冊数に対する新規購入冊数の割合	年3% (年2%)
教育活動充実事業	(11)	各学校の組織的な教育力を高め、教育活動の充実を図ります。	指導主事による学校訪問における指導助言回数	100回/年 (80回/年)
	(12)	各学校の授業等に必要な教材・教具などを整備します。	新学習指導要領対応教材・教具の充足率	100% (一)
特別支援教育推進事業	(13)	特別の支援を必要とする児童・生徒・保護者のニーズに応えます。	アンケートによる保護者の満足度	70% (70%)
教育コンピュータ活用事業	(14)	コンピュータ教室を中心にコンピュータを活用した情報教育を推進します。	発達段階に応じたコンピュータ技能の習得率	100% (一)

【教育研究室】

事業名	番号	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)
英語指導助手 活用事業	(15)	英語指導助手を活用した中学校の英語教育及び小学校外国語活動の充実を図ります。	アンケートによる児童・生徒の満足度	小90% 中70% (小一) (中一)
教職員の資質 向上事業	(16)	教員の資質向上のための研修会の充実を図ります。	研修会への参加人数	200人/年 (187人/年)

教職員の資質向上事業	(17)	研究員研究会における教育課題の研究及び研究成果の普及に努めます。	アンケートによる教職員等の達成度	70% (-)
教育相談事業	(18)	多様な支援を必要とする児童・生徒のニーズに応えます。	専門スタッフによる相談件数	1,000件 /年 (815件/ 年)
	(19)	不登校児童・生徒への支援を行います。	相談指導教室への通級率	50% (18%)

【教育総務課】

事業名	番号	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)
小・中学校施設改修事業	(20)	計画的な施設改修等を実施し、学びやすい学校環境の整備を図ります。	学校施設の改修率 (着工数/改修計画棟数)	100% (-)



【少人数学習による授業の様子】

(2) 生涯学習

ア 生涯学習・乳幼児期

乳幼児期は、人が成長するうえで基盤となる重要な時期です。子どもが十分な愛情を受け、安心を感じながら、心身ともに成長していくことは、その後の豊かな人格形成につながります。

この時期に一番大切なことは、基本的なしつけであり、この時期の教えは、将来にわたり重要な意味を持ちます。良いこと、悪いことの区別を生活に即して、きちんと指導することが大切です。

しかし、乳幼児期の子育ては、昨今の社会変化の中で、さまざまな点で困難さを抱えています。子育ては保護者の責任において行うべきですが、社会全体で支えていく環境づくりを進めていくことも大切です。

さらに、子どもを育てることは、同時に、保護者自身の成長につながるとの観点に立って、家庭教育への支援をしていきます。

◇乳幼児期の方針◇

- 家庭教育に関する情報の提供を図り、相談や学習の機会を設けます。
- 経済的負担を軽減することで、私立幼稚園等への就園を奨励します。

【現状と課題】

〈教育総務課〉

○私立幼稚園等は、遊びや運動を通して社会性を身につける大変重要な教育機関です。しかし、私立幼稚園等に就園させるには、保護者の経済的な負担が大きいことも事実です。

〈生涯学習課〉

○多くの保護者は親戚や地域の支援を受けながら、希望を持って子育てに取り組んでいますが、支援を必要とする保護者に子育てに関する情報が行き渡らない状況があります。

〈スポーツ振興課〉

○スポーツ団体による親子を対象とした教室は開催されていますが、乳幼児に関しては発育時期の遊びからスポーツへと変わる視点での取り組みが必要です。

○町営プールは、夏季の開場時に多くの幼児が利用し、にぎわっていますが、施設の老朽化が進んでいます。

〈公民館〉

○公民館では親子参加の講座を設けていますが、参加者に偏りが見られます。多様なニーズを踏まえた講座を企画する必要があります。

〈総合図書館〉

○総合図書館は、保護者に付き添われた乳幼児にも利用されています。おはなし会を行っており、参加者は1回平均約20人で、会場に余裕がある状況です。さらに図書資料に親しんでもらうため参加者を増やしていくことが課題です。

○総合図書館では、子育てや家庭教育に関する資料購入を行っています。子育てや家庭教育の支援のため関連資料を充実して側面的支援をしていくことが必要です。

◆◆◆◆◆ 前期計画（今後の3年間）の重点施策 ◆◆◆◆◆

※右側の番号は、該当する主な取り組みの番号です。

〈教育総務課〉

- ① 保育料・入園料を補助して経済的負担を軽減することで、私立幼稚園等への就園を奨励します。(1)

〈生涯学習課〉

- ② 子育てに関して、子育て支援課等と連携して気軽に相談ができる体制を整えます。(2)
③ 子育て、家庭教育についての学習機会を設け、その情報提供に努めます。(2)

〈スポーツ振興課〉

- ④ 親子を対象としたスポーツ教室やイベントを開催します。(3)(4)
⑤ 老朽化した町営プールの改修に向け、施設のあり方を検討します。(5)

〈公民館〉

- ⑥ 子育て、家庭教育についての講座を開催し、家庭教育への支援を進めます。(6)(7)

〈総合図書館〉

- ⑦ おはなし会の内容を充実し、さらに参加者を増やします。(8)
⑧ 子育てや家庭教育に役立つ情報提供を行うための資料収集に努めます。(9)



主な取り組み

現状値は平成22年度の数値

【教育総務課】

事業名	番号	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)
私立幼稚園 就園奨励費 助成事業	(1)	幼児の幼稚園などの幼児教育機関への就園を促すために、園児の保護者に補助金を交付して経済的負担を軽減します。	町内在住の4・5歳児のうち、保育園に通園する児童を除く児童の私立幼稚園等への就園率	100% (96%)

【生涯学習課】

事業名	番号	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)
学習情報提供 体制整備事業	(2)	子育てや家庭教育に関する情報をホームページ・広報誌・町民大学メニュー等に掲載します。	情報誌「すきっぷ」の発行回数	4回 (4回)

【スポーツ振興課】

事業名	番号	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)
スポーツ活動 推進事業	(3)	親子で参加できるスポーツ教室や大会等を開催し、親子がふれあう機会の提供をします。	親子スポーツ教室の年間参加者数	240人 (—)
	(4)	多くの親子が教室等に参加できるよう、広報紙、ホームページ等を通じて積極的に情報を提供します。	参加者が定員を満たす親子教室数	全教室 (—)
スポーツ施設 運営管理事業	(5)	町営プールで幼児向けのプールを開放します。	利用幼児者数	3,500人 (3,273人)

【公民館】

事業名	番号	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)
公民館講座開 催事業	(6)	子育てや家庭教育につながる講座を開催します。	講座定員に対する参加率	100% (92%)
文化振興事業	(7)	音楽鑑賞会など芸術文化に親しむ機会を提供します。	鑑賞会等の定員に対する参加率	100% (86.5%)

【総合図書館】

事業名	番号	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)
総合図書館運 営事業	(8)	おはなし会（読み聞かせ）の事業を開催します。	開催回数	60回 (50回)
	(9)	子育てや家庭教育関係の資料を充実していきます。	年間購入資料点数	50点 (16点)



【総合図書館 おはなし会】

イ 生涯学習・青少年期

学校・家庭・地域が協力しながら、子どもを教育していくことはとても大切です。

このことに対し、寒川町教育委員会では、3つの観点から取り組んでいきます。

第一に、子どもの安心・安全の確保という観点であります。地域に、子どもを見つめ、認め、励ます目が多いほどに、子どもの安心感は増し、安全も図られます。子どもの安心・安全確保へ向け、学校・家庭・地域の連携を進めます。

第二に、子ども一人ひとりの個性を伸ばすという観点であります。保護者や地域の人材を活用し、学習や体験活動を充実させます。

第三は、子どものボランティア活動や地域行事への参加を通して、地域の一員としての自覚を育てていこうとする観点であります。ボランティア活動は、自他双方の存在意義を認め自尊感情を高める効果があります。子どもたちが地域の行事に積極的に関わっていけるよう支援していきます。

◇青少年期の方針◇

- 子どもを見守り、安心・安全を確保します。
- 保護者、地域の人材を生かし、学習活動・体験活動の充実を図ります。
- 地域で育った子どもの力を地域の活動に生かします。

【現状と課題】

〈生涯学習課〉

- 社会変化の中で地域の大人と子ども、子ども同士の間関係の希薄化が進んでいます。つながりのきっかけとなる事業を設けていくことが大切です。
- 必要な子どもたちが必要なときにふれあい塾を利用できるよう、児童向けに加えて、保護者向けの周知を図る必要があります。また、見守りボランティアの安定的確保といった課題もあります。

〈スポーツ振興課〉

- 町営プールを開場し、多くの小・中学生の心身の健康増進に役立っていますが、施設の老朽化が進み、改修時期やあり方の検討が必要となっています。
- 総合型地域スポーツクラブを活用し、青少年がスポーツに親しめる環境の充実を図る必要があります。
- スポーツ推進委員がニュースポーツの指導を行っていますが、青少年を対象とした指導があまり行われていない実態があります。

〈公民館〉

- 公民館講座への青少年の参加が少ない実態があります。学校と連携した自然観察や体験講座、学習会などを実施し、青少年の参加を増やす必要があります。
- 子どもフェスティバルは地域と青少年が連携した事業です。しかしながら、一部地域の開催に止まっており、今後は町全域に広げていく必要があります。

〈総合図書館〉

- 総合図書館を身近に感じ理解してもらうため小学生の図書館たんけんや中学生の職場体験など学校単位で受入を行っています。個人でも参加できる図書館を身近に感じてもらえる事業展開が課題です。
- 総合図書館では、青少年の読書意欲を図るため読書週間ポスター展や夏休みに読んだ本を記録する読書記録カードなどを実施しています。多くの青少年に図書館を利用してもらうことが課題です。

◆◆◆◆◆ 前期計画（今後の3年間）の重点施策 ◆◆◆◆◆

※右側の番号は、該当する主な取り組みの番号です。

〈生涯学習課〉

- ① 子ども会事業や町事業等へ参加するなど、ボランティア活動に取り組むジュニア・リーダーズクラブへの支援を積極的に行い、クラブの活性化を図ります。(1)
- ② ふれあい塾を通して、子どもたちが安心・安全に遊べる場を確保するとともに、ふれあい塾の見守りボランティア登録者を増やします。(2)
- ③ 地域行事として定着している町文化祭に、多くの青少年等が参加できるよう工夫します。(3)

〈スポーツ振興課〉

- ④ 親子で参加できるスポーツ教室等を開催し、親子がふれあえる機会を提供します。
また、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団と連携を図り、多様なスポーツの機会を提供します。(4)(5)(6)
- ⑤ 老朽化した町営プールや庭球場の改修時期や施設のあり方を検討します。(再掲) (7)

〈公民館〉

- ⑥ 青少年を対象に、自然観察会、体験講座を開催します。(8)
- ⑦ 子どもフェスティバル、クリスマス広場など青少年が主体となる事業を実施します。(9)
- ⑧ ジュニア絵画展や書き初め大会など、美術や文化に親しむ事業へのより一層の参加を促します。(10)

〈総合図書館〉

- ⑨ 図書館体験などの機会を設け、図書館の利用促進を図ります。(11)
- ⑩ 学校と連携をとりながら、読書意欲の向上を図ります。(12)



主な取り組み

現状値は平成22年度の数値

【生涯学習課】

事業名	番号	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)
青少年育成事業	(1)	青少年指導員連絡協議会と連携しながらジュニア・リーダーズクラブの活性化を図ります。	ジュニアリーダーズクラブ会員数	平成23年度比10%増 (29人)
ふれあい塾運営事業	(2)	地域の見守りボランティアのもとで放課後の子どもたちが安心して遊べる場所を提供します。	児童のふれあい塾登録率	80% (67.5%)
地域文化振興事業	(3)	町文化祭への青少年の参加促進のため、ヤング・ダンス・フェスタ等の事業を実行委員会と協働で進めます。	文化祭への青少年の参加者数	200人 (174人)

【スポーツ振興課】

事業名	番号	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)
スポーツ支援 体制強化事業	(4)	総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団を支援することにより、小・中学生のニーズに合わせたスポーツ活動を進めます。	小・中学生の要望に応えるため、種目別の指導者を派遣する制度の確立	制度の確立 (—)
スポーツ活動 推進事業	(5)	親子で参加できるスポーツ教室や大会等を開催し、親子がふれあう機会の提供をします。(再掲)	親子スポーツ教室の開催数	12 教室 (—)
	(6)	多くの親子が教室等に参加できるよう、広報紙、ホームページ等を通じて積極的に情報提供をします。(再掲)	参加者が定員を満たす親子教室数	全教室 (—)
スポーツ施設 運営管理事業	(7)	学校の体育施設を開放し、スポーツ・レクリエーションに親しむ場を提供します。	体育施設を一般開放する町立小・中学校数	8 校 (8 校)

【公民館】

事業名	番号	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)
公民館講座開 催事業	(8)	青少年向け体験講座等を開催します。	講座定員に対する参加率	100% (94%)
	(9)	子どもフェスティバル等青少年と地域の方々が交流する場を設けます。	実施公民館数	3 館 (1 館)
文化振興事業	(10)	ジュニア絵画展や書き初め大会など芸術文化に親しむ機会を提供します。	全児童・生徒数に対する出展割合	70% (54%)

【総合図書館】

事業名	番号	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)
総合図書館運 営事業	(11)	図書館の仕事や内部を知ってもらうための個人参加型の図書館体験事業を行います。	事業定員への参加率	100% (—)
	(12)	読書意欲の推進や本を読む機会作りのため、夏休みに「読書記録カード」事業を行います。	参加者数	250 人 (196 人)



【総合図書館 ライブ・イン・ライブラリー】

ウ 生涯学習・伸長期

青年期は、夢を抱き、自己のアイデンティティを形成する時期です。さまざまな出会いを通し、飛躍的に視野が広がる時期でもあります。将来、寒川や日本を支える若者たちの能力の伸長、夢の実現に向けた学びを支援します。

この時期、多くの青年の活動の場が町から離れてしまうために、地域での活動が少なくなる傾向があります。しかし、本来、誰もが地域や社会の中で役に立ちたいという気持ちを持っています。そうした青年たちの願いがかなうよう環境整備を進めます。

スポーツの面でも、青年が気軽にスポーツに親しめる環境をつくります。

基本方針4 チャレンジ精神・自立心を育むための環境整備を進めます。

(賢く豊かな自分づくり)

【現状と課題】

〈生涯学習課〉

- 通勤、通学により町外で過ごす時間が多く、地域で活動したり、地域の行事に参加しづらい状況にあります。
- 生涯学習拠点として地区公民館3館体制をとっていますが、青年たちのニーズに応えていない状況にあります。
- 成人式への参加率は、ここ数年75%前後と高いものとなっています。さらに門出にふさわしい成人式を目指します。
- 文化財学習センターでは、町の歴史についての資料を展示していますが、利用者は少ない状況です。企画展示などを工夫するとともに、魅力的な講座を開催し利用者を増やす必要があります。

〈公民館〉

- 多様化するニーズに対応しきれず青年たちの利用が少ない傾向があります。若者文化を取り入れた講座や鑑賞の場を設ける必要があります。

〈総合図書館〉

- 利用者の利便性の向上に向けて総合図書館と南・北公民館図書室のサテライト化を早期実現する必要があります。
- 総合図書館は、多くの方に利用されています。伸長期の町内利用者の登録率は約50%です。利用者のさまざまなニーズに応えられる資料の整備を行い、多くの方に図書館を利用していただき登録者を増やしていくことが課題です。
- より開かれた総合図書館を目指しボランティア等を積極的に活用していく必要があります。

◆◆◆◆◆ 前期計画（今後の3年間）の重点施策 ◆◆◆◆◆

※右側の番号は、該当する主な取り組みの番号です。

〈生涯学習課〉

- ① 青年たちが参加しやすい生涯学習の機会を設け、地域の仲間づくりを進めます。(1)
- ② 成人式の記念事業を新成人等による実行委員会形式とし、自らが式の企画や運営にあたることにより、自立と共生の精神を育みます。(2)
- ③ 文化財学習センターでの各種講座や企画展を充実させ、郷土の歴史に対する関心を高め、文化財に対する保護意識の向上を図ります。(3)

〈公民館〉

- ④ 若者文化を取り入れ、青年たちが参加しやすい講座を開催し、地域の仲間づくりを進めます。(4)
- ⑤ コンサート、演劇、バレエ、ダンス等のより質の高い文化芸術の発表や鑑賞の機会を設けます。(5)

〈総合図書館〉

- ⑥ 総合図書館と南北公民館図書室のサテライト化を図り、図書館機能を向上させるとともに、図書館利用の促進に努めます。(6)(7)
- ⑦ 図書館ボランティアの活用により図書館サービスの充実に努めます。(8)



主な取り組み

現状値は平成22年度の数値

【生涯学習課】

事業名	番号	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)
生涯学習振興事業	(1)	PTA 指導者研修会など成人期を対象とした事業を実施し、仲間づくりを進めます。	PTAを対象とした研修の参加者数	平成23年度比10%増 (68人)
成人式開催事業	(2)	「祝ってもらう」から「自ら祝う」式へ転換し、自立と共生を学ぶ機会とします。	式典参加者率	80%以上 (74.5%)
文化財学習センター事業	(3)	埋蔵文化財の整備、展示のほか、民具、農具の展示、各種事業実施などにより、文化財保護意識の普及、啓発を図ります。	文化財学習センター来館者数	平成23年度比10%増 (646人)

【公民館】

事業名	番号	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)
公民館講座開催事業	(4)	若者文化を取り入れた講座を開催し、仲間づくりを進めます。	講座定員に対する参加率	100% (88.5%)
文化振興事業	(5)	文化講演会など学ぶ機会を充実させるとともに発表の場を提供します。	講演会等の定員に対する参加率	50% (31%)

【総合図書館】

事業名	番号	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)
総合図書館運営事業	(6)	南・北公民館図書室とのサテライト化を行い、利用者の利便性を図ります。	サテライト館数	2館 (-)
	(7)	図書館利用方法のPRや周知に努めます。	町内利用者の登録率	55% (50%)
	(8)	ボランティアを募り、より開かれた図書館運営を行います。	登録者数	10名 (-)



【成人式を前にして】

基本方針5 スポーツに気軽に親しみ、心身の健やかな成長を促す環境の整備を進めます。(健やかな体づくり)

【現状と課題】

〈スポーツ振興課〉

- 全国大会や世界大会に出場する競技者に交付金を支給しています。激励の意味も含めて対象者すべてに支給する必要があります。
- 学校施設を一般に開放し、それぞれの地域でスポーツに親しむ場を提供しています。
- スポーツの指導者として資質に優れた人材はいるものの生かしきれていない現状であります。体育協会や総合型地域スポーツクラブと連携し人材活用を図る必要があります。

◆◆◆◆◆ **前期計画（今後の3年間）の重点施策** ◆◆◆◆◆

※右側の番号は、該当する主な取り組みの番号です。

〈スポーツ振興課〉

- ① スポーツの基本や理論をしっかりと指導できる人材を育成・確保し、競技力の向上を図ります。(1)
- ③ スポーツイベントやスポーツ活動を支援するボランティア制度を確立します。(2)(3)
- ④ 全国大会等出場交付金がすべての対象者に交付されるよう、ホームページ等での周知を図ります。(4)(5)



主な取り組み

現状値は平成22年度の数値

【スポーツ振興課】

事業名	番号	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)
スポーツ支援 体制強化事業	(1)	総合型地域スポーツクラブと連携することにより、町民のニーズに合わせたスポーツ活動を進めます。	町民の要望に応えるため、種目別の指導者を派遣する制度の確立	制度の確立 (—)
	(2)	地域におけるスポーツ活動の支援のため、スポーツボランティア等の人材を確保します。	スポーツボランティア制度の確立	制度の確立 (—)

スポーツ活動 推進事業	(3)	町民のニーズにあったスポーツ教室や大会等を開催し、多くの町民に生涯を通じてスポーツ・レクリエーションに親しむ機会を提供します。	参加者が定員を満たす教室数	全教室 (1/4 教室)
	(4)	多くの町民が教室等に参加できるよう、広報紙、ホームページ等を通じて積極的に情報提供を行います。(再掲)	参加者が定員を満たす教室数	全教室 (1/4 教室)
	(5)	全国大会等出場に対する交付金の助成や競技団体への活動支援を行い競技力の向上を目指します。	全国大会・世界大会年間出場者数	前年度 10%増 (31人)



【町営プール】

エ 生涯学習・充実期

壮年期と呼ばれる世代は、生涯の中で、最も仕事の持つウエイトが高まる時期です。多くの人が仕事を通して自己実現を目指しています。その自己実現をより一層深めるための学習の機会を充実させます。

また、この年代における「学び」が仕事を中心に展開されるならば、余暇を活用しての「遊び」の存在も、大きな意味を持ちます。遊びを通して心を広げ、人とつながりを深めることが可能となります。この世代の豊かな力の組織化を図ります。さらに、学校教育や家庭教育への支援、地域の活性化につなげていきます。

スポーツ振興の面では、年代をこえて自由に、好きなスポーツへの参加ができる環境を整備します。

基本方針6 人間の幅を広げ、交流を図る活動への支援を行います。

(賢く豊かな自分づくり)

【現状と課題】

〈生涯学習課〉

- 学習者の自己発見や、生きがいづくり、仲間づくりのきっかけとなるような事業を開催していますが、仕事中心の生活期であるため、地域行事等への参加が少ない傾向にあります。
- 人材登録制度では、一定の登録はあるものの、その利用率は高いものとは言えません。そのため登録講師による自主企画講座の実施など制度のPRを図る必要があります。
- 地域の生涯学習拠点としての施設・設備が不足しています。当面は既存施設を有効に活用しながら、今後の経済・財政状況を見据え、方向性を検討する必要があります。
- 文化財学習センターでは、町の歴史についての資料を展示していますが、利用者は少ない状況です。企画展示などを工夫するとともに、魅力的な講座を開催し利用者を増やす必要があります。(再掲)

〈公民館〉

- 講座参加者に女性が多く、男性が少ない傾向があります。今後は男性をターゲットにした講座も充実させる必要があります。
- 公民館サークルの発表などを通じて、身近に芸術や文化に親しむ場があります。今後は専門家等による質の高い芸術鑑賞の場を設けます。

〈総合図書館〉

- 利用者の利便性の向上に向けて総合図書館と南・北公民館図書室のサテライト化を早期実現する必要があります。(再掲)
- 総合図書館は、多くの方に利用されています。充実期の町内利用者の登録率は約30%です。利用者のさまざまなニーズに応えられる資料の整備を行い、多くの方に図書館を利用いただき登録者を増やしていくことが課題です。(一部再掲)
- より開かれた総合図書館を目指しボランティア等を積極的に活用していく必要があります。(再掲)

◆◆◆◆◆ 前期計画（今後の3年間）の重点施策 ◆◆◆◆◆

※右側の番号は、該当する主な取り組みの番号です。

〈生涯学習課〉

- ① 円熟期への助走路となるような生涯学習の機会や、学習成果を地域へ還元できる仕組みを充実させるとともに、不惑式などの実施により地域の仲間づくりの場を設けます。(1)(2)
- ② 文化財学習センターでの各種講座や企画展を充実させ、郷土の歴史に対する関心を高め、文化財に対する保護意識の向上を図ります。(再掲)(3)

〈公民館〉

- ③ 男女が共に充実した生涯学習の円熟期を迎えられるように、講座等さまざまな機会を設定し、生涯学習を通して、地域の仲間づくりを進めます。(4)
- ④ コンサート、演劇、バレエ、ダンス等のより質の高い文化芸術の発表や鑑賞の機会を設けます。(再掲)(5)

〈総合図書館〉

- ⑤ 総合図書館と南・北公民館図書室のサテライト化を図り、図書館機能を向上させるとともに、図書館利用の促進に努めます。(再掲)(6)(7)
- ⑥ 図書館ボランティアの活用により図書館サービスの充実に努めます。(再掲)(8)

主な取り組み

現状値は平成22年度の数値

【生涯学習課】

事業名	番号	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)
学習情報提供体制整備事業	(1)	学習機会を求めている人や自分の技術技能などを伝えたい人に情報を提供できるよう、その体制を充実し地域の学習活動の活性化を図ります。	ステップアップ登録講師による講座開催数	平成23年度比10%増 (11講座)
生涯学習振興事業	(2)	不惑式など地域参加へのきっかけとなる場を設けるとともに、生涯学習の意識向上を図るため、町民大学など自由に学習活動ができる環境づくりを行います。	町民大学メニュー事業の定員に対する参加率	平成23年度比10%増 (63.8%)
文化財学習センター事業	(3)	埋蔵文化財の整備、展示のほか、民具、農具の展示、各種事業実施などにより、文化財保護意識の普及、啓発を図ります。(再掲)	文化財学習センター来館者数	平成23年度比10%増 (646人)

【公民館】

事業名	番号	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)
公民館講座開催事業	(4)	男女が共に生涯の趣味や生きがいにつながるような講座を開催します。	講座定員に対する参加率	100% (89.25%)
文化振興事業	(5)	文化講演会など学ぶ機会を充実させるとともに発表の場を提供します。(再掲)	講演会等の定員に対する参加率	50% (31%)

【総合図書館】

事業名	番号	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)
総合図書館運営事業	(6)	南・北公民館図書室とのサテライト化を行い、利用者の利便性を図ります。(再掲)	サテライト館数	2館 (-)
	(7)	図書館利用方法のPRや周知に努めます。(再掲)	町内利用者の登録率	35% (30%)
	(8)	ボランティアを募り、より開かれた図書館運営を行います。(再掲)	登録者数	10名 (-)



【公民館まつり】

基本方針7 地域に根ざしたスポーツ活動への支援を行います。

(健やかな体づくり)

【現状と課題】

〈スポーツ振興課〉

- スポーツの指導者として資質に優れた人材はいるものの生かされていらない現状であります。体育協会や総合型スポーツクラブと連携し人材活用を図る必要があります。(再掲)
- スポーツ教室やイベントの参加者が固定化する傾向があります。内容、開催日の時期や情報提供の仕方を見直す必要があります。
- 学校施設を一般に開放し、それぞれの地域でスポーツに親しむ場を提供しています。(再掲)

◆◆◆◆◆ 前期計画（今後の3年間）の重点施策 ◆◆◆◆◆

※右側の番号は、該当する主な取り組みの番号です。

〈スポーツ振興課〉

- ① スポーツの基本や理論をしっかりと指導できる人材を育成・確保し、競技力の向上を図ります。(再掲) (1) (2)
- ② ニュースポーツ等、気軽にできるスポーツの普及・啓発を行い、より多くの町民に体を動かす楽しさが体感できる事業を展開します。(3)(4)



主な取り組み

現状値は平成22年度の数値

【スポーツ振興課】

事業名	番号	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)
スポーツ支援 体制強化事業	(1)	総合型地域スポーツクラブとの連携により、町民のニーズに合わせたスポーツ活動を進めます。(再掲)	町民の要望に応えるため、種目別の指導者を派遣する制度の確立	制度の確立 (-)
	(2)	地域におけるスポーツ活動の支援のため、スポーツボランティア等の人材を確保します。(再掲)	スポーツボランティア制度の確立	制度の確立 (-)

スポーツ活動 推進事業	(3)	町民のニーズあったスポーツ教室や大会等を開催し、すべての町民が生涯を通じてスポーツ・レクリエーションに親しむ機会を提供します。(再掲)	参加者が定員を満たす教室数	全教室 (1/4教室)
	(4)	多くの町民が教室等に参加できるように、広報紙、ホームページ等を通じて積極的に情報提供を行います。(再掲)	参加者が定員を満たす教室数	全教室 (1/4教室)



【テニス教室】

オ 生涯学習・円熟期

還暦を過ぎ、人生の円熟期に入った世代の方々は、多くの場合、すでに仕事の面でも子育ての面でも、責任を果たし終えようとしています。人生90年時代と言われる今日、ここ寒川にて、「もうひとつの花」を咲かせていただくことができる環境づくりを進めます。

これまで培われた多くの智恵を生かしていただき、文化の振興、発展を図ることができるよう環境整備を進めます。さらに、多くの人とのふれあいの中で、文化を伝える機会を設けていきます。

また、いつまでも体を動かし、健康を保つことのできる環境整備を進めます。

基本方針8 知恵を伝え、絆をつなぎ合う活動への支援を行います。

(賢く豊かな自分づくり)

【現状と課題】

〈生涯学習課〉

- ライフワークや新たな生きがいがいづくりにつながる事業を展開していますが、まだまだ参加が少ないのが現状です。
- 人材登録制度では、一定の登録はあるものの、その利用率は高いものとは言えません。そのため登録講師による自主企画講座の実施など制度のPRを図ります。(再掲)
- 地域の生涯学習拠点としての施設・設備が不足しています。当面は既存施設を有効に活用しながら、今後の経済・財政状況を見据え、方向性を検討する必要があります。(再掲)
- 文化財学習センターでは、町の歴史についての資料を展示していますが、利用者は少ない状況です。企画展示などを工夫するとともに、魅力的な講座を開催し利用者を増やす必要があります。(再掲)

〈公民館〉

- 現在、多くの方が公民館を利用していますが、利用者の固定化が見られます。今後は、次の世代との交流やいつまでも利用できる環境づくりが必要です。
- 公民館サークルの発表などを通じて、身近に芸術や文化に親しむ場があります。今後は専門家等による質の高い芸術鑑賞の場を設けます。(再掲)

〈総合図書館〉

- 利用者の利便性の向上に向けて総合図書館と南・北公民館図書室のサテライト化を早期実現する必要があります。(再掲)
- 総合図書館は、多くの方に利用されています。円熟期の町内利用者の登録率は約20%です。利用者のさまざまなニーズに応えられる資料の整備を行い、多くの方に図書館を利用していただき登録者を増やしていくことが課題です。(一部再掲)
- より開かれた総合図書館を目指しボランティア等を積極的に活用していく必要があります。(再掲)

◆◆◆◆ 前期計画（今後の3年間）の重点施策 ◆◆◆◆

※右側の番号は、該当する主な取り組みの番号です。

〈生涯学習課〉

- ① 今までの経験や学習した成果を生かし、「地域のせんせいふれあい推進事業」や地域の生涯学習活動に積極的に参加できる環境づくりを進めます。(1)

- ② 還暦式などライフワークや新たな生きがいづくりのきっかけになる事業を実施します。(2)
- ③ 文化財学習センターでの各種講座や企画展を充実させ、郷土の歴史に対する関心を高め、文化財に対する保護意識の向上を図ります。(再掲) (3)

〈公民館〉

- ④ 新たな趣味や生きがいにつながるような講座を開催し、地域での活動を支援します。(4)
- ⑤ コンサート、演劇、バレエ、ダンス等のより質の高い文化芸術の発表や鑑賞の機会を設けます。(再掲) (5)

〈総合図書館〉

- ⑥ 総合図書館と南北公民館図書室のサテライト化を図り、図書館機能を向上させるとともに、図書館利用の促進に努めます。(再掲) (6) (7)
- ⑦ 図書館ボランティアの活用により図書館サービスの充実に努めます。(再掲) (8)



主な取り組み

現状値は平成22年度の数値

【生涯学習課】

事業名	番号	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)
学習情報提供体制整備事業	(1)	学習機会を求めている人や自分の技術技能などを伝えたい人に情報を提供できるよう、その体制を充実し地域の学習活動の活性化を図ります。(再掲)	ステップアップ登録講師による講座開催数	平成23年度比10%増 (11講座)
生涯学習振興事業	(2)	還暦式など地域参加へのきっかけとなる場を設けるとともに、生涯学習の意識向上を図るため、町民大学など自由に学習活動ができる環境づくりを行います。	町民大学メニュー事業の定員に対する参加率	平成23年度比10%増 (63.8%)
文化財学習センター事業	(3)	埋蔵文化財の整備、展示のほか、民具、農具の展示、各種事業実施などにより、文化財保護意識の普及、啓発を図ります。(再掲)	文化財学習センター来館者数	平成23年度比10%増 (646人)

【公民館】

事業名	番号	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)
公民館講座開催事業	(4)	各種講座を開催するとともに、生涯学習の指導者として学習の成果を地域に還元できるような体制を整えます。	講座定員に対する参加率	100% (89.25%)
文化振興事業	(5)	文化講演会など学ぶ機会を充実させるとともに発表の場を提供します。(再掲)	講演会等の定員に対する参加率	50% (31%)

【総合図書館】

事業名	番号	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)
総合図書館運営事業	(6)	南・北公民館図書室とのサテライト化を行い、利用者の利便性を図ります。(再掲)	サテライト館数	2館 (-)
	(7)	図書館利用方法のPRや周知に努めます。(再掲)	町内利用者の登録率	25% (20%)
	(8)	ボランティアを募り、より開かれた図書館運営を行います。(再掲)	登録者数	10名 (-)

基本方針9 体を動かし、健康を保つ活動の支援を行います。

(健やかな体づくり)

【現状と課題】

〈スポーツ振興課〉

- レクリエーションフェスティバルを開催し、円熟期の町民の励みとなっておりますが、さらに参加者を増やしていく必要があります。
- 円熟期の町民がスポーツに親しむ機会が増えており、健康を考慮した施設のあり方について検討する必要があります。
- スポーツ施設の有効活用を図るため、総合体育館と連携する必要があります。
- スポーツに安心して取り組めるよう、体力や身体の状態を把握する必要があります。

◆◆◆◆◆ 前期計画（今後の3年間）の重点施策 ◆◆◆◆◆

※右側の番号は、該当する主な取り組みの番号です。

〈スポーツ振興課〉

- ① スポーツに安心して取り組むため、体力や身体の状態を把握する体力測定を実施します。(1)
- ② 町民のニーズに応じたスポーツボランティア等の人材を確保します。(2)
- ③ ニュースポーツ等、気軽にできるスポーツの普及・啓発を行い、より多くの町民に体を動かす楽しさを実感させるための事業を展開します。(再掲) (3)
- ④ 総合型地域スポーツクラブを支援し、体力に合わせたスポーツ活動を進めます。(3)
- ⑤ スポーツ施設の有効活用を図るため、総合体育館と連携し、体力づくり、健康づくりを進めます。(再掲) (3)

主な取り組み

現状値は平成22年度の数値

【スポーツ振興課】

事業名	番号	取り組み	成果指標	目標値 (現状値)
スポーツ支援 体制強化事業	(1)	総合型地域スポーツクラブと連携し、体力や身体の状態を把握するための体力測定を実施します。	体力測定参加者数	300人 (200人)
	(2)	地域におけるスポーツ活動の支援のため、スポーツボランティア等の人材を確保します。(再掲)	スポーツボランティア制度の確立	制度の確立 (-)
スポーツ活動 推進事業	(3)	町民のニーズにあったスポーツ教室や大会等を開催し、すべての町民が生涯を通じてスポーツ・レクリエーションに親しむ機会を提供します。(再掲)	参加者が定員を満たす教室数	全教室 (1/4教室)



【グラウンドゴルフ】